

『みなとオアシス「もんべつ」』の概要

紋別市 建設部港湾課

1 みなとオアシス登録

平成26年1月24日（金）に紋別港が道内で8番目の『みなとオアシス「もんべつ」』として登録されました。

登録にあたり、『みなとオアシス「もんべつ」運営協議会』が平成25年12月25日（水）市内12の企業・団体で発足し、事業計画の内容について検討されてきました。

『みなとオアシス「もんべつ」』は、オホーツクの豊かな自然環境を活用した賑わい創出と地域活性化の継続した取り組みによって、流水砕氷船「ガリンコ号Ⅱ」の発着場でもある海洋交流館を中心に世界初となる氷海展望塔「オホーツクタワー」やその周辺に位置する第3防波堤「クリオネプロムナード」等のみなとの既存施設を活用した交流拠点づくりを推進します。

また、「もんべつ観光みなとまつり」の会場となる中心市街地や道立オホーツク流水公園をオアシス連携地区として、相互に情報共有、発信することにより、みなとの賑わいを呼び込み、人々の交流・ふれあい拠点づくりなどを目指します。



2 登録証授与式

平成26年2月8日（土）もんべつ流水まつり会場のメイン氷像前（2014冬季オリンピック会場を代表する文化施設「ソチのウインターシアター」をテーマ）ステージにて、『みなとオアシス「もんべつ」』の登録証授与式が行われました。

登録証は、川合紀章北海道開発局港湾空港部長から宮川良一紋別市長へ授与され、宮川紋別市長からみなとオアシス「もんべつ」運営協議会竹内珠巳代表へ伝達されました。



その後、川合港湾空港部長から「今回のみなとオアシス登録を契機に、地域の力でますます活性化することを祈ります。」と挨拶がありました。



会場では、あいすらんど共和国主催の「氷点下まるかじりパーティー」も開催されており、市民や観光客で大変賑わいました。

登録証授与式に続き、みなとオアシス登録後、最初の事業として氷海展望塔「オホーツクタワー」に新設されたイルミネーションの点灯式が行われました。

このイルミネーションは構成団体であるみなと「まちづくり女性ネットワークオホーツク」が主体となり設置されたもので、観光景観創出と虐待防止を願うオレンジリボン運動の周知を目指すものです。

今後みなとオアシスの取組によって、みなとまちづくりの促進や更なる賑わいの創出が期待されます。

なお、登録証は、「海洋交流館」内にある流水砕氷船「ガリンコ号Ⅱ」受付カウンター前に掲示されています。